



2024年04月 現在

Arcserve Replication 18.0 for Windows Standard for File Server

Arcserve Replication 18.0 for Windows Standard with Assured Recovery

Arcserve Replication 18.0 for Windows Enterprise with Assured Recovery

Arcserve Replication 18.0 for Windows Virtual Machine with Assured Recovery

Arcserve Replication 18.0 for Windows Virtual Machine with Assured Recovery 5 Pack

Arcserve Replication 18.0 for Windows VM Protection per Host License

本商品は、業務サーバのデータをほぼリアルタイムで他のサーバのディスクへ複製することにより、バックアップ時間を気にすることなく、データ保護が可能となります。

本商品は、Arcserve Replication r16.5 for Windows の後継商品です。

- ・ **業務サーバ/レプリカサーバ**

PRIMERGY / FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 IaaS / FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン / パブリッククラウド

- ・ **コントロールサービス**

PRIMERGY / FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 IaaS / FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン / パブリッククラウド

- **業務サーバ/レプリカサーバ**

Windows Server 2019(64-bit) / Windows Server 2016(64-bit) / Windows Server 2012 R2(64-bit) /
Windows Server 2012(64-bit) / Windows Server 2008 R2(64-bit) / Windows Server 2008(64-bit)

- **コントロールサービス**

Windows Server 2019(64-bit) / Windows Server 2016(64-bit) / Windows Server 2012 R2(64-bit) /
Windows Server 2012(64-bit)

1. 別サーバへの継続的なデータ保護

稼働している業務サーバとは別のサーバ（レプリカサーバ）のディスクへ、ほぼリアルタイムでデータを複製することが可能です。

使用する帯域幅の設定も可能なため、遠隔地へデータを保護することも可能です。

また、業務サーバの復旧時には、エクスプローラ等でレプリカサーバからデータをコピーする等により、容易に復旧できます。

2. データリwind機能

ファイルサーバのデータを複製する運用の場合、複製元であるデータ全体の更新履歴を保持することで、レプリカサーバ側で過去の時点のデータを復元することが可能です。

誤ってファイルを削除/更新した場合でも、最適な目標復旧地点（RPO）の状態に復元することが可能です。（業務サーバ側の更新量によって、復元できる状態は異なります）

3. データベースの複製

以下の商品では、稼働しているOracleやMicrosoft SQLのデータベースを別のサーバ（レプリカサーバ）のディスクへ、複製することが可能です。

- Arcserve Replication 18.0 for Windows Standard with Assured Recovery
- Arcserve Replication 18.0 for Windows Enterprise with Assured Recovery
- Arcserve Replication 18.0 for Windows Virtual Machine with Assured Recovery
- Arcserve Replication 18.0 for Windows Virtual Machine with Assured Recovery 5 Pack
- Arcserve Replication 18.0 for Windows VM Protection per Host License

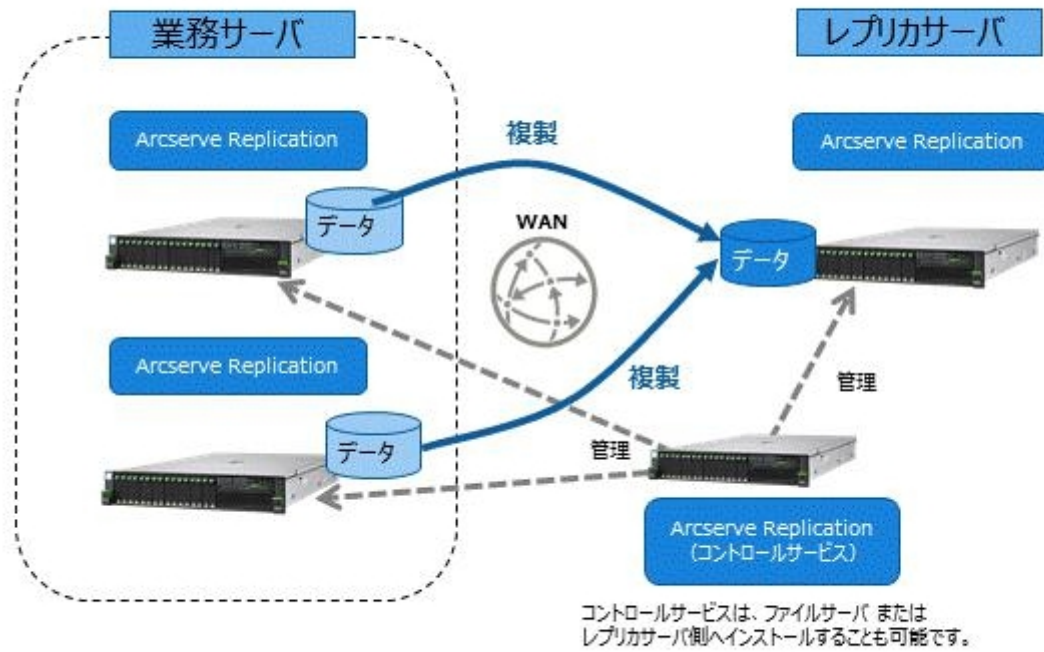
4. 仮想化環境上のWindowsゲストのデータの複製

以下の商品では、VMwareやHyper-Vといった仮想化環境のWindowsゲスト上に導入することで、ファイルやデータベースの複製が可能です。

- Arcserve Replication 18.0 for Windows Virtual Machine with Assured Recovery
- Arcserve Replication 18.0 for Windows Virtual Machine with Assured Recovery 5 Pack
- Arcserve Replication 18.0 for Windows VM Protection per Host License

5. 業務サーバをシステムを含め複製

システムを含めた業務サーバをVMware環境およびHyper-V環境上の仮想マシンとして複製することが可能です（フルシステムシナリオ）。



r16.5から 18.0への機能強化項目は、以下のとおりです。

1. Windows Server 2019 対応

Windows Server 2019 環境のレプリケーションに対応しました。

- ・ オンラインマニュアル
 - ・ Arcserve Replication インストールガイド (PDF)
 - ・ Arcserve Replication 管理者ガイド (PDF)

商品体系

- Arcserve Replication 18.0 for Windows Enterprise with Assured Recovery
- Arcserve Replication 18.0 for Windows Standard for File Server
- Arcserve Replication 18.0 for Windows Standard with Assured Recovery
- Arcserve Replication 18.0 for Windows Virtual Machine with Assured Recovery
- Arcserve Replication 18.0 for Windows Virtual Machine with Assured Recovery 5 Pack
- Arcserve Replication 18.0 for Windows VM Protection per Host License

なお、本商品には、アップグレード権（1年間）がついております。

1. ファイルサーバ用商品の購入方法

(1) Arcserve Replication 18.0 for Windows Standard for File Server

以下のOS上のファイルのレプリケーションを行う環境では、本商品を導入するファイルサーバとレプリカサーバ毎に1本、購入してください。

なお、本商品に含まれるコントロールサービスは、インストールフリーです。（ファイルサーバやレプリカサーバとは別のマシンへインストールすることを推奨）

- ・ Windows Server 2008 Standard (64-bit)
- ・ Windows Server 2008 R2 Standard (64-bit)
- ・ Windows Server 2012 Standard (64-bit)
- ・ Windows Server 2012 R2 Standard (64-bit)
- ・ Windows Server 2016 Standard (64-bit)
- ・ Windows Server 2019 Standard (64-bit)

2. データベースの複製用商品

(1) Arcserve Replication 18.0 for Windows Standard with Assured Recovery

以下のOS上のMicrosoft SQL Server、Microsoft Exchange Server、Oracleのデータのレプリケーションを行う環境では、本商品を導入するサーバとレプリカサーバ毎に1本、購入してください。

なお、本商品に含まれるコントロールサービスは、インストールフリーです。（業務サーバやレプリカサーバとは別のマシンへインストールすることを推奨）

- ・ Windows Server 2008 Standard (64-bit)
- ・ Windows Server 2008 R2 Standard (64-bit)
- ・ Windows Server 2012 Standard (64-bit)
- ・ Windows Server 2012 R2 Standard (64-bit)
- ・ Windows Server 2016 Standard (64-bit)
- ・ Windows Server 2019 Standard (64-bit)

(2) Arcserve Replication 18.0 for Windows Enterprise with Assured Recovery

以下のOS上のMicrosoft SQL Server、Microsoft Exchange Server、Oracleのデータのレプリケーションを行う環境では、本商品を導入するサーバとレプリカサーバ毎に1本、購入してください。

- ・ Windows Server 2008 Enterprise (64-bit)
- ・ Windows Server 2008 R2 Enterprise (64-bit)
- ・ Windows Server 2012 Datacenter (64-bit)
- ・ Windows Server 2012 R2 Datacenter (64-bit)
- ・ Windows Server 2016 Datacenter (64-bit)
- ・ Windows Server 2019 Datacenter (64-bit)

3. Windows Server 2008 Enterprise および Windows Server 2012/2012 R2/2016/2019 Datacenter用商品

(1) Arcserve Replication 18.0 for Windows Enterprise with Assured Recovery

以下のOS（MSCS、フェールオーバークラスタ含む）上のデータのレプリケーションを行う環境では、本商品を導入するサーバとレプリカサーバ毎に1本、購入してください。

なお、本商品に含まれるコントロールサービスは、インストールフリーです。（業務サーバやレプリカサーバとは別のマシンへインストールすることを推奨）

- ・ Windows Server 2008 Enterprise (64-bit)
- ・ Windows Server 2008 R2 Enterprise (64-bit)
- ・ Windows Server 2012 Datacenter (64-bit)

- Windows Server 2012 R2 Datacenter (64-bit)
- Windows Server 2016 Datacenter (64-bit)
- Windows Server 2019 Datacenter (64-bit)

4. 仮想化環境上のWindowsゲストでのレプリケーション

(1) Arcserve Replication 18.0 for Windows Virtual Machine with Assured Recovery

VMwareやHyper-Vのような仮想化環境上のWindowsゲストでレプリケーションを行う環境では、導入する仮想マシンとレプリカサーバとなる仮想マシン毎に1本、本商品を購入してください。

なお、本商品に含まれるコントロールサービスは、インストールフリーです。（業務サーバやレプリカサーバとは別のマシンへインストールすることを推奨）

なお、上記商品のライセンスが5ライセンス分 同梱されている以下の商品も提供しています。

- Arcserve Replication 18.0 for Windows Virtual Machine with Assured Recovery 5 Pack

(2) Arcserve Replication 18.0 for Windows VM Protection per Host License

VMwareやHyper-Vのような仮想化環境上のWindowsゲストでレプリケーションを行う場合は、仮想化環境毎に、本商品を1ライセンス購入してください。

なお、本商品のライセンス構成は、以下の通りです。

- 仮想マシンの台数は無制限

1. レプリカサーバのバックアップ/リストア

レプリカサーバ側に複製されたデータを、レプリカサーバに接続されたテープ装置へバックアップ/リストアする場合は、以下の商品を使用してください。

- ・ Arcserve Backup 18.0 for Windows

レプリカサーバ側に複製されたデータを、別のバックアップサーバへリモートバックアップ/リストアする場合は、レプリカサーバに以下の商品を使用してください。

- ・ Arcserve Backup 18.0 Client Agent for Windows

2. ファイルサーバへのリストア

Arcserve Backupでバックアップしたデータを直接ファイルサーバへリストアする場合は、ファイルサーバに以下の商品を使用してください。

- ・ Arcserve Backup 18.0 Client Agent for Windows

なし

1. Windows サーバOS(64-bit)上での動作

本商品のエンジン部分は、以下のOS上で、64ビットアプリケーションとして動作します。

- Windows Server 2008(64-bit)
- Windows Server 2008 R2(64-bit)
- Windows Server 2012(64-bit)
- Windows Server 2012 R2(64-bit)
- Windows Server 2016(64-bit)
- Windows Server 2019(64-bit)

また、コントロールサービス部分は、WOW64(注)サブシステム上で、32ビットアプリケーションとして動作します。

注：Windows 32-bit On Windows 64-bit

2. 動作要件について

本商品の動作要件は、「関連URL」に記載の「FUJITSU Software (Arcserve Replication)」から、「動作環境」を参照ください。

3. アップグレード権について

本商品には、アップグレード権が含まれています（納品日より1年間有効）。

アップグレード権の有効期間中に新バージョンがリリースされた場合、最新のソフトウェアを入手頂くことができます。

なお、本商品のアップグレード権証書は、紛失されても再発行できませんので、大切に保管してください。

4. 最新のパッチモジュールについて

本商品を使用する際、「関連URL」の「Arcserve社（技術情報）」のWebサイト内の「Arcserve RHA Patch Index」より、最新のパッチモジュールをダウンロードし、本商品をインストール後に適用することを推奨します。

5. 最新の注意/制限事項について

本商品における最新の注意/制限事項については、「関連URL」の「Arcserve 社（技術情報）」のWebサイトを参照ください。

6. ライセンス登録について

本商品に同梱されている「アップグレード権証書」には、商品のライセンス登録に必要な情報が記載されています。記載情報によって、以下の通りライセンスの登録の方法が異なります。

また、これらの情報およびパッケージは、紛失されても再発行できませんので、大切に保管してください。

「License Key」が記載されている場合

ライセンスキーによるライセンス登録を行います。詳細は、「関連URL」の「Arcserve 社（ライセンス登録）」のWebサイトで掲載されている、ライセンスキーの登録に関するドキュメントを参照ください。

パッケージ裏面のシールの「Product no.」に記載されている数字の末尾が、「-02」と表記されたものが対象（2019年8月初旬より出荷されたもの）。

「Order ID」および「FulfillmentNumber」が記載されている場合

アクティベーションによるライセンス登録を行います。アクティベーションに関する留意事項は以下の通りです。

パッケージ裏面のシールの「Product no.」に記載されている数字の末尾が、「-01」と表記されたものが対象（2019年7月まで出荷されたもの）。

(1) アクティベーションの実施先

アクティベーションは、コントロールサービスをインストールするサーバで実施します。

(2) アクティベーションに必要なもの

アクティベーション作業は、Arcserve社のポータルサイトへアクセスするために、Order IDやFulfillment Numberの他に以下が必要です。

- ・Arcserve Replicationをインストールした環境
- ・インターネット経由で受信可能な電子メールアドレス
- ・HTML形式で受信可能なメールクライアント（インストール環境とは別の環境でも可）
- ・インターネット接続環境（インストール環境とは別の環境でも可）

(3) アクティベーションの手順について

本商品のアクティベーションは、Arcserve社のポータルサイトへアクセスし、本商品に同梱されている、以下の情報を登録します。

- ・Order ID
- ・Fulfillment Number

アクティベーションの手順の詳細は、「関連URL」の「Arcserve 社（アクティベーション）」のWebサイトで掲載されている、「Arcserveアクティベーション手順書」内のボックス製品に関する手順を参照ください。

7. 同期処理について

初回の同期や再同期の際、以下の条件では同期処理に時間を要します。

- ・帯域幅が狭いネットワーク環境
- ・大容量ファイルの環境（1TB以上）
- ・ファイル数が非常に多い環境
- ・業務サーバとレプリカサーバのデータに差異が多い場合

8. 複製対象のデータについて

以下のデータの複製は行えません。

- ・クラウド上の仮想マシン内のシステム状態、レジストリ、システムファイル
- ・各ボリュームのSystem Volume Information
- ・ネットワークドライブとして割り当てられているドライブ（ETERNUS NR1000Fシリーズ、ネットワークHDD等を含む）
- ・Linux環境

9. 運用時の留意事項

(1) ひとつのディレクトリに対して双方向のレプリケーションは行えません。

(2) Windows ファイルシステム（NTFSなど）で利用可能な以下の機能は複製されません。

- ・ハードリンク
- ・暗号化
- ・リパース ポイント
- ・シンボリック リンク
- ・SIS(Single Instance Storage:単一インスタンス ストレージ)機能を使っているボリューム

(3) データの不一致を発生させない為に、レプリケーション実行中はレプリカサーバのレプリケーション先データに対する変更は行わないでください。

10. スプールディレクトリについて

本商品では、複製データ等を一時保存するために、業務サーバ・レプリカサーバ内でスプールディレクトリを作成します。

以下の点に注意ください。

- ・スプールディレクトリはシステムドライブ以外に作成してください。
- ・スプールディレクトリが使用するディスク領域として、複製対象データの15%以上の空き領域を推奨します。
- ・パフォーマンスの悪化を避けるため、ウィルス対策ソフトのスキャン対象から除外してください。
- ・同期中にマスタサーバで行われたデータの変更は、マスタサーバおよびレプリカサーバのスプールディレクトリに蓄積され、同期完了後に反映されます。そのため、ネットワーク帯域幅が狭く同期処理に時間がかかる環境において、同期中にマスタサーバで大量にデータが更新される場合、更新データ量分のスプールディレクトリを確保してください。

11. リwind機能について

- (1) 一度リストアに利用されたリwindポイントを再度指定することはできません。また、一度リストアを行うと指定したリwindポイントより時間的に新しいポイントはクリアされます。
- (2) リwind機能は複製対象データ全体を、指定したリwindポイントの状態まで復旧します。単一のファイルのみを復旧することはできません。

12. クラウドのオブジェクトストレージへのデータ退避について

レプリケーション先として、クラウドオブジェクトストレージを使用することは、サポートしません。

13. VMware, Hyper-V, Linux仮想マシン機能 (KVM) 仮想環境上への導入について

(1) 仮想環境上への導入は、以下の全ての条件に合致する環境に限りサポートします。

- 富士通がゲストOSとしてサポートするOS
- Arcserve社が物理環境上でサポートするOS

なお、仮想環境のホストOS上での動作はサポートしません。

また、サポート範囲は物理環境上のサポートと同等とし、ゲストOS上で問題が発生した際、物理環境の再現を求める場合があります。

ゲストOS上でのみ発生する動作や性能低下は保証いたしません。

(2) VMwareが提供する機能に関する留意事項は、以下の通りです。

- 仮想マシンの複製機能における切り替え後は、レプリケーションの再設定を行ってください。

(3) Hyper-Vが提供する機能に関する留意事項は、以下の通りです。

- ライブマイグレーションにおける切り替え中の動作は、サポートしません。
- クイックマイグレーションにおける切り替え中の動作は、サポートしません。
- フェールオーバーにおける切り替え中の動作は、サポートしません。
- インポート/エクスポートの利用時の設定についてはマニュアルを参照ください。

14. FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 / FJcloud-V / for Microsoft Azure / for AWS の仮想マシン上への導入について

仮想環境上への導入は、以下の全ての条件に合致する環境に限りサポートします。

- 仮想マシンのOSが、Arcserve Replicationが物理環境でサポートしているOS
- レプリケーションの対象は、ユーザデータのみ
- レプリケーション先は、仮想マシンが認識するハードディスク

なお、サポート範囲は物理環境上のサポートと同等とし、ゲストOS上で問題が発生した際、物理環境の再現を求める場合があります。

また、ゲストOS上でのみ発生する動作や性能低下は保証いたしません。

15. マルチベンダーサーバおよびパブリッククラウドのサポートについて

本商品では、富士通SupportDeskで他社機での動作をサポートいたします。

なお、サポートには条件があります。

サポート条件の詳細は、「関連URL」の「FUJITSU Software (Arcserve Replication)」内の「サービス&サポート」を参照してください。

16. Microsoft Azure Stack Hub 環境の仮想マシン上への導入について

Microsoft Azure Stack Hub 環境の仮想マシン上への導入は、サポートしません。

17. 旧バージョン (r16.5) との違い

本商品より、以下の環境での動作には対応していません。

- ・ Windows Server 2003
- ・ Windows Server 2003 R2
- ・ Windows Server 2008 (x86)

お客様向けURL

- **FUJITSU Software (Arcserve Replication)**

本商品の詳細情報を記載しています。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/partners/partners/arcserve/products/replication/>

- **Arcserve社 (製品情報)**

本商品の詳細情報を記載しています。

<https://www.arcserve.com/jp/data-protection-solutions/arcserve-replication-high-availability/>

- **Arcserve社 (技術情報)**

本商品の技術情報および、最新の注意/制限事項を記載しています。

<https://support.arcserve.com/s/topic/0T01J00000013piWAC/arcserve-rha?language=ja>

- **Arcserve 社 (ライセンスキー登録)**

Arcserve商品のライセンスキーの登録について記載しています。

<https://www.arcserve.com/jp/jp-resources/licensing/>

- **Arcserve 社 (アクティベーション)**

Arcserve商品のアクティベーションの手順について記載しています。

<https://www.arcserve.com/wp-content/uploads/2019/03/as-activation-steps.pdf>